

ロータリー財団委員会

ロータリー財団委員会 統轄委員長 細淵 克則 (入間RC)

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

ロータリー財団委員会は、財団についてクラブに情報を提供し、財団プログラムへの参加と寄付に対するクラブの意欲を高めるように努めます。また、DDF (地区財団活動資金) 利用の承認および補助金申請のためのクラブの参加資格認定を担当します。さらに、ロータリー財団が推奨する5つの委員会 (具体的には以下のような責務を担います) を設け活動することにより、ロータリー会員からの寄付が世界でよいことを行う財団プログラムを支えていること、ロータリー財団は私たち一人ひとりのものであることを、より実感していただけるように努めてまいります。

■ポリオプラス委員会

ポリオ根絶に向けたロータリー活動を支援し、ポリオプラスへの支援と活動への参加を奨励する。

■資金推進委員会

年次基金、ポリオプラス基金、恒久基金における地区のファンドレイジング目標を調整し、寄付の奨励と寄付の方法に関するロータリアンの理解向上を支援する。

クレジットカードを利用することでポリオ根絶への活動資金に寄付できる「ロータリーカード」の認知度を高め、ロータリアンの利用推進を図る。

■補助金委員会

クラブによるロータリー補助金の申請を援助し、地区補助金とグローバル補助金への参加を奨励する。

■財団資金管理委員会

クラブの補助金参加資格を監督し、ロータリーの補助金資金の徹底した管理と、適切な資金管理方法に関するロータリー会員への教育の責務を担う。

■奨学学友・平和フェロー委員会

世界理解と親善による世界平和に共鳴し、研究と共に友好と交流を積極的に行える奨学生を募集し、一年間のオリエンテーションを行い、それぞれの申請を行う。

ロータリー平和フェローシッププログラムへの支援と参加をクラブに奨励し、候補者による申請を管理する。

※各クラブの会長並びにロータリー財団委員長へのお願いを具体的に記します。

1. クラブの財団への寄付目標を5月末までに報告してください。

(国際ロータリーのホームページでMy Rotaryに登録し、クラブのデータベースとなるロータリークラブ・セントラルで入力)

2025-26年度の寄付目標は、会員一人あたり、年次基金150ドル以上・ポリオプラス30ドル以上・恒久基金30ドル以上、合計で210ドル以上としました。

2. 寄付目標を達成できるよう働きかけをお願いいたします。

3. 少なくとも年に2回、ロータリー財団についてのプログラムを実施するようお願いします。

10月24日は世界ポリオデーです。

2024年の世界ポリオデーには、5,000以上のクラブが142カ国で約8,000のポリオ関連活動を実施し、マラソン、医療診断、有名建造物のイルミネーションなど、さまざまな活動を通じてポリオ根絶に対する献身と熱意を示しました。クラブの参加数は2023年よりも20%増加し、過去最高の記録となりました。特に第4455地区(ペルー)、4380地区(ベネズエラ)、4751地区(ブラジル)、4780地区(ブラジル)、4420地区(ブラジル)では、世界ポリオデーの活動を記録したクラブの割合が世界で最も高くなりました。

11月は、ロータリーの特別月間のうち「ロータリー財団月間」です。

例会でロータリー財団の卓話を聞く、ポリオ根絶活動の広報や募金活動を行う、チャリティーゴルフ大会を開く、さらに財団の補助金を利用しての社会奉仕活動を行うなど、ロータリー財団支援のモチベーションを高めるような例会プログラムを実施してください。